

第 53 回 日本脂質生化学会プログラム

第 1 日午前 第 1 会場

シンポジウム 1 S1-01~S1-05 9:00-11:30

「脂質ドメインのダイナミクスと細胞機能」

座長 小林 俊秀 (理研・基幹研)、岩渕 和久 (順天堂大・医)

- S1-01 Visualization of lipids and lipid domains
9:00 RIKEN Advanced Science Institute
P 4 O Toshihide Kobayashi, Mitsuhiro Abe, Takuma Kishimoto, Asami Makino, Françoise Hullin-Matsuda, Reiko Ishitsuka and Motohide Murate
- S1-02 Re-examination of the role of tight junctions as a lipid diffusion barrier
9:30 ¹Kyoto University, ²Kumamoto University
P 5 O Junichi Ikenouchi¹, Kazuaki Umeda² and Masato Umeda¹
- S1-03 Optically Invisible Properties of Membrane Organization are Revealed by TIRF-FCS on a Sphingolipid-Interacting Probe
10:00 ¹National University of Singapore, ²JADO Technologies, ³Nanyang Technological University
P 6 M. Manna¹, J. Sankaran¹, G. Jennings², T. Wohland¹ and O R. Kraut³
- S1-04 Rapid Flip-flop Motions of Diacylglycerol and Ceramide in Phospholipid Bilayers
10:30 RIKEN Advanced Science Institute
P 8 O Yuji Sugita, Reiko Ishituka, and Fumiko Ogushi
- S1-05 Organization and signal transduction mechanisms of glycolipid-enriched membrane microdomains
11:00 Juntendo University School of Medicine
P 9 O Kazuhisa Iwabuchi

一般講演 2-06~2-10 10:35-12:00

座長 山下 純 (帝京大・薬)、上田 夏生 (香川大・医)

- 2-06 膜結合アシルトランスフェラーゼによる CoA 依存性トランスアシルレーション反応
10:35 帝京大・薬
P 48 ○山下 純、鈴木尚孝、古賀裕基、佐々木洋子、林 康広、岡 沙織、杉浦隆之
- 2-07 外根鞘に局在する sPLA2-X は体毛の恒常性維持に關与する
10:55 ¹東京都医学総合研究所・脂質代謝 P T、²昭和大学・薬・衛生化学、
³東大院医・メタボローム、⁴JST・CREST、⁵JST・さきがけ
P 52 ○山本圭¹、武富芳隆¹、三木寿美^{1,2}、佐藤弘泰¹、池田和貴³、中西広樹³、
田口良^{3,4}、村上誠^{1,5}
- 2-08 樹状細胞の sPLA2-IIID は炎症応答の寛解を制御する
11:15 ¹都医学研・脂質代謝、²昭和大・薬・衛生化学、³秋田大・バイオサイエンス、
⁴中部大・生命健康科学・生命医科、⁵JST・CREST、⁶JST・PRESTO
P 54 ○三木寿美^{1,2}、山本圭¹、下華奈子¹、武富芳隆¹、中西広樹^{3,5}、田口良^{4,5}、
原俊太郎²、村上誠^{1,6}
- 2-09 脂肪過栄養により誘導される sPLA₂-V は全身的な脂質代謝異常を制御する
11:30 ¹東京都医学総合研究所・脂質代謝プロジェクト、²東邦大・医、
³昭和大・薬・衛生化学、⁴PRESTO, JST
P 58 ○佐藤弘泰¹、武富芳隆¹、山本圭¹、磯貝有紀¹、石川由紀雄²、石井壽晴²、
原俊太郎³、村上誠^{1,4}
- 2-10 癌抑制遺伝子群 HRASLS ファミリー・メンバーHRASLS1 のリン脂質代謝酵素活性
11:45 ¹香川大医・生化、²香川大医病・薬剤部、³国立病院機構善通寺病院
P 62 ○宇山徹¹、篠原尚樹^{1,2}、金星華¹、坪井一人¹、藤内武春³、芳地一²、上田夏生¹

第1日午前 第3会場

一般講演

3-01~3-04 9:00-10:05

座長 深澤 征義（国立感染研）、山口 智広（昭和大・薬）

3-01 ラビリントチュラ類の脂質蓄積関連タンパク質の単離と機能解析

9:00 ¹九大院・生資環、²九大院・農、³宮大・農、⁴日本水産、⁵九大バイオアーク

P 82 ○山元悠樹¹、小林 巧²、安部英理子²、坂口圭史²、沖野 望²、林 雅弘³、
沖田裕司⁴、杉本慎一⁴、伊東 信^{2,5}

3-02 単細胞真核生物ラビリントチュラ類の油球形成タンパク質 LDRP-1

9:15 ¹九大院・生資環、²九大院・農、³九大院・理、⁴九大バイオアーク

P 85 関根聡美¹、○安部英理子²、野村和子²、野村一也³、沖野 望²、伊東 信^{2,4}

3-03 ステロイド産生細胞（MLTC-1）における脂肪滴局在タンパク質の解析

9:30 昭和大・薬・生物化学

P 89 ○山口智広、藤川典之、相内敏弘、津田園佳、徳岡雄太郎、二村哲未、小浜孝士、
加藤里奈、板部洋之

3-04 スクワレン合成酵素を標的としたC型肝炎ウイルス産生阻害

9:45 国立感染研 細胞化学¹ ウイルス^{2,3}、浜松医大 感染症²、国立医薬食品研⁴

P 92 ○齊藤恭子¹、鈴木哲朗²、相崎英樹³、花田賢太郎¹、脇田隆字³、西島正弘⁴、
深澤征義¹

一般講演

3-05~3-07 10:05-11:00

座長 小林 哲幸（お茶大・ライフ）、岡島 史和（群馬大・生体研）

3-05 オートタキシンノックダウンによるがん細胞の浸潤・転移抑制

10:05 ¹お茶大院・ライフサイエンス、²テネシー大学・ヘルスサイエンスセンター

P 95 ○後藤真里^{1,2}、内山綾子¹、藤原優子²、Junming YUE²、Gabor TIGYI²、
室伏きみ子¹

3-06 リゾホスファチジン酸産生酵素オートタキシンの結晶構造解析
10:25 ¹東北大院・薬・分子細胞生化学、²東大院・理・生物化学、³大阪大・蛋白研、
⁴理研、⁵東北大・医・代謝疾患医学センター
P 97 ○奥平真一¹、西増弘志²、濱弘太郎¹、三原恵美子³、堂前直⁴、井上飛鳥¹、
石谷隆一郎²、高木淳一³、濡木理²、青木淳賢^{1,5}

3-07 リゾホスファチジン酸受容体 LPA3 を介した求心性迷走神経活性化作用の解析
10:45 ¹東北大院・薬・分子細胞生化学、²東大院・薬・衛生化学、³スクリプス研究所、
⁴東北大院・医・代謝疾患コアセンター
P 101 ○可野邦行¹、遠藤智子²、濱弘太郎¹、新井洋由²、Jerold Chun³、青木淳賢^{1,4}

一般講演 3-08~3-11 11:00-12:05
座長 徳村 彰 (徳島大・薬)、石井 聡 (秋田大・医)

3-08 骨形成における LPA シグナリングの役割の解明
11:00 東北大・院薬・分子細胞生化学¹、Scripps 研究所²、The Netherlands Cancer
Institute³、東北大・院医・代謝疾患医学コアセンター⁴
P 105 ○板井恵理子¹、有馬直明¹、濱弘太郎¹、井上飛鳥¹、奥平真一¹、
Jerold Chun²、Wouter Moolenaar³、青木淳賢^{1,4}

3-09 ヒト膵臓がん細胞株のインビボ浸潤・転移に対するリゾホスファチジン酸受容体
アンタゴニスト Ki16198 の経口投与による抑制作用
11:15 ¹群馬大・生調研・シグナル伝達分野、²明治大・農学部・生命科学科
P 108 ○小町 麻由美¹、佐藤 幸市¹、戸村 秀明²、岡島 史和¹

3-10 アトピー性皮膚炎の新規搔痒誘発因子としてのリゾホスファチジン酸の可能性
11:30 ¹徳島大・院薬・衛生薬学、²日本クレア 技術部
P 110 ○清水 嘉文¹、足立 美佳¹、森川 美幸²、木本 重信²、田中 保¹、徳村 彰¹

3-11 先天性貧毛症で報告された p2y5/LPA6 変異体の機能異常
11:50 ¹東大・院医・細胞情報、²秋田大・院医・生体防御
P 114 ○柳田圭介¹、真砂佳代¹、清水孝雄¹、石井聡²

第1日午後 第1会場

一般講演 1-01~1-03 14:00-14:55
座長 田口 良 (中部大・生命)、岩森 正男 (近畿大・理工)

1-01 Glyco- and Lipidomics への新しいアプローチ TLC-Blot/MALDI-QIT-TOF MS
を用いた神経疾患の Ganglioside Molecular Scanning

14:00 ¹大塚製薬株式会社 基盤技術研究所、²探索第三研究所、⁴徳島研究所、
³浜松医科大学、分子イメージング先端研究センター 分子解剖学研究部門
P 20 ○瀧 孝雄¹, Tania Valdes Gonzalez², 井上菜穂子³, 平野稚子², 西村東洋⁴,
矢澤 伸⁴, 石山広信², 早坂孝宏³, 瀬藤光利³

1-02 質量分析計による組織切片からのダイレクト脂質局在解析

14:20 ¹慶應大・先端研、²中部大・メタボロミクス、³国立衛研
P 24 ○池田和貴¹、後藤美保²、田島陽子³、曾我朋義¹、田口良²

1-03 LipidBank における糖脂質分類

14:40 ¹東大・理・生物化学、²東大・医・メタボローム、³北里大・一般教育・生物、
⁴国衛研
P 26 ○有田正規¹、八杉悦子²、中村和生³、西島正弘⁴

特別講演 SS-01~SS-02 15:15-17:15

座長 平林 義雄 (理研・脳センター)、小林 俊秀 (理研・基幹研)

SS-01 「私のスフィンゴ脂質研究：脂質シグナリングから膜ダイナミクスへ」

15:15 北海道大学 先端生命

P 1 ○五十嵐 靖之

SS-02 「未来を創る光分子イメージング」

16:15 理化学研究所 脳センター

P 1 ○宮脇 敦史

第 1 日午後 第 2 会場

一般講演

2-11~2-14 14:00-15:00

座長 今井 浩孝 (北里大・薬)、中谷 良人 (昭和大・薬)

2-11 認知症者における過酸化脂質蓄積赤血球の出現とその生成機構

14:00 ¹東北大院 農学研究科 機能分子解析学、²帝京大 薬、

³東北大 加齢医学研究所 脳科学研究部門 老年医学分野

P 66 ○宮澤大樹¹、仲川清隆¹、喜古健敬¹、鈴木俊英²、荒井啓行³、宮澤陽夫¹

2-12 ヒト血中ホスファチジルコリンヒドロペルオキシド (PCOOH) の LC-MS/MS 分析

14:15 ¹東北大・院農・機能分子、²日医大・第三内科・内分泌代謝

P 70 ○加藤俊治¹、仲川清隆¹、及川真一²、宮澤陽夫¹

2-13 生体膜リン脂質脂肪酸組成変化による小胞体ストレス応答の活性化

14:30 ¹東大院・薬、²CREST・JST

P 74 ○有山 博之¹、河野 望^{1,2}、松田 真治¹、井上 貴雄^{1,2}、新井 洋由^{1,2}

2-14 高度不飽和脂肪酸欠乏状態における小胞体ストレス応答分子 ire-1 活性化とその意義

14:45 ¹東大院・薬、²東京女子医大・医・第二生理、³CREST, JST

P 77 ○田中 陸人¹、河野 望^{1,3}、平田 祐介¹、有山 博之¹、井上 貴雄^{1,3}、
中臺 枝里子^{2,3}、三谷 昌平^{2,3}、新井 洋由^{1,3}

第 1 日午後 第 3 会場

一般講演

3-12~3-15 14:00-15:05

座長 矢富 裕 (東大・医)、深見 希代子 (東薬大・生命)

3-12 ホスホイノシチドホスファターゼ SKIP の細胞内局在がインスリンシグナル制御に及ぼす影響

14:00 神戸大・医・脂質生化学

P 117 ○伊集院 壮、竹縄 忠臣

3-13 SH3YL1 は PI (3, 4)P₂ 産生を介して細胞膜 ruffling の形成を制御している

14:20 ¹神戸大・院医・膜生物学、²神戸大・院医・脂質生化学

P 121 ○長谷川純矢¹、徳田恵美²、澤井治子¹、竹縄忠臣²、伊藤俊樹¹

3-14 LPCAT1 は正常な肺サーファクタント脂質の合成に必須である

14:35 東大・院医・細胞情報学

P 125 ○原山武士、進藤英雄、衛藤樹、清水孝雄

3-15 コリン特異的ホスホジエステラーゼ NPP6 のコリン代謝における役割

14:50 ¹東北大院・薬・分子細胞生化学、²東大院・薬・衛生化学、

³東北大院・医・代謝疾患医学コアセンター

P 128 ○山本 泰生¹、坂上 秀樹²、滝田 浩之¹、奥平 真一¹、濱 弘太郎¹、
新井 洋由²、青木 淳賢^{1, 3}

第 2 日午前 第 1 会場

シンポジウム 2 S2-01~S2-05 9:00-11:30

「脂質と病態の最新トピックス」

座長 花田 賢太郎(感染症研)、有田 誠(東京大・薬)

- S2-01 メタボリックシンドロームおよびアレルギー疾患における GM3 ガングリオシドの病態生理学的意義
9:00 ¹東北薬大・分子生体膜研・機能病態分子、²東北薬大・病態生理
P 12 ○井ノ口仁一¹、永福正和¹、大野勳²、奥山香織²
- S2-02 Sulfatide によるインフルエンザウイルスの複製制御
9:30 ¹静岡県大・薬・生化、²静岡県大・薬・生物物理、³高知大・医・生化、⁴中部大・生命健康
P 13 高橋忠伸¹、木村愛弓¹、紅林佑希¹、高橋俊策¹、佐藤紘彰²、川岸佐和子¹、横山英志²、藤井 敏²、本家孝一³、鈴木康夫⁴、○鈴木 隆¹
- S2-03 生理的・病的条件下における心臓脂肪滴の機能とペリリピン5の役割
10:00 ¹兵庫県立大・院・生命理、²昭和大・薬
P 14 倉元謙太¹、岡村智雄¹、山口智広^{1,2}、○大隅 隆¹
- S2-04 C型肝炎ウイルスは宿主の脂肪系をハイジャックして増殖する
10:30 千葉工業大学 附属総合研究所
P 15 ○下遠野 邦忠
- S2-05 炎症を制御する脂肪酸代謝物の包括的メタボローム解析
11:00 東大・院薬・衛生化学、JST さきがけ
P 16 ○有田誠

第2日午前 第2会場

一般講演

2-15~2-19 9:00-10:25

座長 小堤保則（京大・生命科学）、伊東 信（九大・農）

2-15 膜マイクロドメイン画分からの簡便な界面活性剤除去法を活用した糖脂質の構造決定

9:00 東海大・糖鎖研

P 166 ○樺山一哉、鈴木佑典

2-16 イネに含まれるグルコシルセラミドのLC-ESI-MS/MSによる分析

9:15 甲南大・院・自然科学

P 167 ○今井博之、和田彩恵、渡辺雅之

2-17 軟体動物斧足類バカガイ *Mactra chinensis* の中性スフィンゴ糖脂質の構造解析

9:30 滋賀大・教育・化学¹、北海道大・水産科学院・資源利用学²、

立命館大・生命科学・情報生物³、水産総合センター・中央水産研⁴

P 170 原島 鷹¹、秋田悠里¹、野崎仁崇²、橋本恭平¹、西尾 匡³、小島寿夫³、
齋藤洋昭⁴、伊藤将弘³、杉田陸海¹、○糸乗 前¹

2-18 デングウイルス結合性硫酸化糖鎖分子の同定と感染制御への応用

9:50 ¹静岡県大・薬・生化学、²愛知医大・分子医研、³愛知医大・先端医、

⁴長崎大・熱医研

P 174 ○左 一八¹、江良翔太¹、渡辺一平¹、在原雅貴¹、杉浦信夫²、木全弘治³、
森田公一⁴、鈴木 隆¹

2-19 消化管共生乳酸菌の糖脂質抗原の構造およびヒト血中抗体との反応

10:05 ¹近大・理工・生命、²慶大・医・産婦、³医薬基盤研・動物疾患モデル

P 176 ○岩森正男¹、酒井昭宏¹、南本教仁¹、田中京子²、青木大輔²、足立成基³、
野村大成³

10:25-10:35 休憩

一般講演

2-20~2-24 10:35-12:00

座長 岩淵 和久 (順大・医)、瀧 孝雄 (大塚製薬)

- 2-20 スフィンゴ脂質と ESCRT 複合体が関与する Ypk1 の窒素源飢餓による分解
10:35 京大・院生命
P 180 下林 貢、富岡 真、山根ゆかり、竹松 弘、○小堤保則
- 2-21 動物細胞の熱ストレス応答におけるグルコシルセラミド合成酵素の重要性
10:55 ¹お茶の水女子大院・ライフサイエンス、²理化学研究所・脳科学総合研究センター、
³東京理科大・薬・創薬
P 183 ○上田裕子¹、秋山央子¹、後藤真里¹、渡辺俊²、平林義雄²、小林進³、室伏擴¹、
室伏きみ子¹
- 2-22 病原性抗酸菌によるラクトシルセラミドの膜マイクロドメインをターゲットとした
情報伝達かく乱機構について
11:10 ¹順大・医療看護・生化学、²順大・医・解剖学、³順大・院医・環境研
P 186 ○中山仁志¹、栗原秀剛²、高森建二³、小川秀興³、岩淵和久^{1, 3}
- 2-23 線虫 *C. elegans* のスフィンゴ糖脂質合成は卵母細胞の形成と初期胚分裂に必須であ
る
11:25 ¹九大・理学研究院、²九大・農学研究院、³帝京大学、⁴九大・システム生命、
⁵ミネソタ大、⁶熊本大、⁷東京女子医大、⁸埼玉大、⁹理研・脳科学総合センター
P 187 野村和子^{1,2}、林康弘³、宮崎清香⁴、秋好紗弥香⁴、村田大輔⁴、出嶋克史⁵、
水口惣平⁶、中台枝理子⁷、安藤恵子⁸、三谷昌平⁷、平林義雄⁹、伊東信²、
○野村一也^{1,4}
- 2-24 小脳プルキンエ細胞特異的 Ugcg ノックアウトマウスにおける軸索とミエリンの形
態異常
11:45 ¹東北薬大・生体膜情報、²理研・脳センター・神経膜機能、
³東京都老人研・老化制御、⁴岩手医大・バイオイメージングセンター、
⁵北大院・先端生命科学、⁶理研・脳センター・脳形態解析、
⁷理研・脳センター・動物実験支援ユニット
P 188 ○渡辺 俊^{1,2}、遠藤 昌吾³、大嶋 恵理子²、星 登美子⁶、東 秀好¹、
山田 一之⁷、遠山 稿二郎⁴、山下 匡⁵、平林 義雄²

第 2 日午前 第 3 会場

一般講演

3-16~3-19 9:00-10:10

座長 最上 知子 (国立衛研)、宮崎 章 (昭和大・医)

3-16 PKD/AP-2 による ABCA1 と adiponectin の遺伝子発現の共通情報伝達系

9:00 名古屋市立大学医学研究科

P 216 岩本紀之、堂前純子、○横山信治

3-17 冠動脈疾患患者の血中に存在する酸化 LDL の性状解析

9:20 ¹昭和大・薬・生物化学、²昭和大・医・循環器内科学

P 220 ○小浜孝士¹、白岩誉裕希¹、楠ノ瀬雄也¹、高橋あい理¹、木庭新治²、濱寄裕司²、
小林洋一²、加藤里奈¹、山口智広¹、板部洋之¹

3-18 apoE-K0 マウス大動脈の動脈硬化巣形成前から進行する脂質過酸化物の蓄積に
関与する因子の探索

9:35 昭和大・薬・生物化学

P 224 ○加藤里奈、林暢孝、宮越由佳、天日雅行、鶴巻実香、鈴木裕之、松井浩志、
相内敏弘、小浜孝士、山口智広、板部洋之

3-19 Deletion of sphingosine-1-phosphate receptor-2 inhibits proinflammatory
activities of macrophages and atherosclerosis in apoE-deficient mice

9:50 Dept. Physiology¹ & Dept. Internal Med.², Kanazawa University Sch. of Med.,
Dept. Health & Med. Sci., Ishikawa Pref. Nursing Univ.³, Dept. Lab. Medicine,
Univ. of Tokyo⁴, and Dept. Medicine, Teikyo Univ.⁵

P 227 ○Wang Fei¹, Yasuo Okamoto¹, Isao Inoki², Kazuaki Yoshioka¹, Noriko Takuwa^{1,3},
Ryunosuke Ohkawa⁴, Yutaka Yatomi⁴, Makoto Kinoshita⁵ and Yoh Takuwa¹

10:10-10:20 休憩

一般講演

3-20~3-23 10:20-11:40

座長 多久和 陽 (金沢大・医)、横溝 岳彦 (九大・医)

3-20 スフィンゴシン1-リン酸(S1P)分泌輸送体 SPNS2 の機能解析

10:20 阪大・産研・生体情報制御学

P 231 ○久野悠、山口明人、西毅

3-21 スフィンゴシン1-リン酸代謝経路の解明:

シェーグレン・ラルソン症候群原因遺伝子 ALDH3A2 の関与

10:40 北大・院薬・生化学

P 233 中原かなえ、安部健介、○木原章雄

3-22 スフィンゴミエリンによる走化性運動の制御

11:00 ¹鳥取大・医・臨床検査、²鳥取大・医・病態生化学、³北大院・先端生命、⁴京大院・医・病態生物医学

P 236 ○浅野智志¹、北谷和之¹、谷口真²、橋本真由美¹、武谷浩之²、座間宏太³、光武進³、五十嵐靖之³、清川悦子⁴、松田道行⁴、岡崎俊朗¹

3-23 消化管におけるスフィンゴイド塩基の選択的吸収機構

11:20 ¹京大・院・農、²東北大・院・農、³日本製粉(株)、⁴阪大・蛋白研

P 239 ○酒井祥太¹、菅原達也¹、藤井愛生¹、都築 毅²、池田郁男²、間 和彦³、増田太郎¹、松尾英一⁴、西村 紀⁴、平田 孝¹

第2日午後 第1会場

一般講演

1-04~1-07 14:00-15:05

座長 秋葉 聡 (京都薬大)、原 俊太郎 (昭和大・薬)

1-04 マラリア原虫の生活環維持における stearyl-CoA Δ^9 -desaturase の役割

14:00 ¹国立国際医療研究センター・研究所、²帯広畜産大・原虫病センター、³感染研・寄生動物、⁴現 佐賀大・医・分生科

P 134 ○三田村 俊秀¹、土井 裕子²、見市 文香^{3,4}、岡田 麻美¹、野崎 智義³、狩野 繁之¹、嘉糠 洋陸²

1-05 トランス脂肪酸による脂肪細胞のインスリン応答性の低下について

14:20 ¹帝京大・薬、²富山大・和漢研

P 138 ○厚味 巖一¹、澤田啓介¹、根橋佳奈¹、渡辺志朗²、大藏直樹¹

1-06 レスベラトロール 4' 位水酸基は PPAR 活性化に関与する

14:35 奈良女子大・食物栄養

P 141 ○滝澤祥恵、越地聡美、勝川路子、中田理恵子、井上裕康

1-07 PPAR α を介したレスベラトロールの効果と脂質代謝の異なる系統差の影響

14:50 奈良女子大・食物栄養

P 144 ○中田理恵子、小菅由希子、滝澤祥恵、田村恵美、井上裕康

15:05-15:15 休憩

一般講演 1-08~1-12 15:15-16:50

座長 厚味 巖一（帝京大・薬）、井上 裕康（奈良女大・食物栄養）

1-08 肝脂肪蓄積に伴う線維化過程への IVA 型ホスホリパーゼ A₂ の関与

15:15 京都薬大・病態生化学

P 147 宮崎 晃，伏見英晃，金井志帆，石原慶一，○秋葉 聡

1-09 エイコサペンタエン酸による血中脂質及び脂肪肝の改善効果について

15:35 ¹長野県短大、生活科学、健康栄養、²信州大、院医、代謝制御学、
³信州大、医、消化器内科

P 151 ○杉山英子^{1, 2}、田中直樹^{2, 3}、中畠岳郎²、神戸宏樹²、青山俊文²

1-10 食事由来酸化コレステロールの脂質代謝攪乱作用に対するピタバスタチンとエゼチミブによる低減効果の解明

15:55 明治大・農・農化

P 155 ○照沼彰一郎、熊田紀子、長田恭一

2-28 ホスホリパーゼ C δ 1 と δ 3 の同時欠損は心臓の繊維化を引き起こす

14:45 東薬大・生命・ゲノム情報学

P 201 ○児島亮太、中村由和、橋本悠希、深見希代子

15:00-15:10 休憩

一般講演 2-29~2-33 15:10-16:40

座長 板部 洋之 (昭和大・薬)、横山 和明 (帝京大・薬)

2-29 蛍光基質ピレニルホスファチジン酸を用いたホスファチジルグルコシドの生合成反応解析

15:10 ¹理研脳センター 神経膜機能研究チーム, ²理研 基幹研究所 小林脂質生物学研究室

P 204 ○長塚靖子¹, 佐野孝光¹, Peter Greimel², 清水知佳¹, 平林義雄¹

2-30 哺乳動物のGDE群とマウスGDE5の非酵素的機構による骨格筋分化制御

15:30 ¹群馬大・院医・、²広島大院・生物圏、³東京医歯大・難治研、⁴Istituto of Protein Biochemistry, National Research Council, Naples, Italy

P 208 ○大嶋紀安¹、岡崎優利²、吉澤郁美²、亀井康富³、Stefania Mariggiò⁴、岡本佳子²、立井一明¹、岸本幸治¹、小川佳宏³、加藤範久²、Daniela Corda⁴、矢中規之²、和泉孝志¹

2-31 コレステロール結合蛋白質NPC2によるABCG5/G8依存的なコレステロール胆汁排泄促進作用

15:45 ¹東大病院・薬剤部、²東大病院・薬理動態学

P 210 ○山梨 義英^{1, 2}、高田 龍平¹、鈴木 洋史¹

2-32 神経シナプスに局在する脂溶性抗原#15の精製

16:05 高知大・医・生化学¹、高知システム糖鎖生物学教育研究センター²

P 211 ○久下英明¹、赤堀佳奈^{1, 2}、本家孝一^{1, 2}

2-33 セラミド産生にともなうリソソーム関連膜構造物

16:25 東京医科歯科・¹院医歯、²医歯学研究支援センター機器分析部門

P 213 ○横山 三紀¹、寺澤 和恵¹、市野瀬 志津子²、柳下 正樹¹

第 2 日午後 第 3 会場

一般講演 3-24~3-27 14:00-15:00

座長 村上 誠 (都・医学研)、有田 誠 (東大・薬)

3-24 エイコサペンタエン酸由来の新たな代謝経路及び抗炎症性代謝物についての解析

14:00 東大・院薬・衛生化学

P 242 ○久保田唯史、磯部洋輔、有田誠、新井洋由

3-25 プロスタグランジン最終合成酵素、mPGES-1 および PGIS 二重欠損マウスの性状解析

14:15 昭和大・薬・衛生化学¹、治療ニーズ探索学²

P 244 ○佐々木由香¹、亀井大輔²、松本このみ¹、田村夏紀¹、上山修平¹、原俊太郎¹

3-26 Comparative study regarding the endogenous synthesis of prostaglandin J2 series and their contribution to up-regulation of adipogenesis during the maturation phase in cultured adipocytes

14:30 Dept. Life Sci. Biotech., and Center Integr. Res. Sci., Shimane University;
Dept. Clin. Pharm., Tokushima Bunri Univ.

Mohammad Salim Hossain¹, Abu Asad Chowdhury¹, Mohammad Sharifur Rahman¹,

P 246 Pinky Karim Syeda¹, Kohji Nishimura², Mitsuo Jisaka¹, Tsutomu Nagaya¹,
Fumiaki Shono³, and ○Kazushige Yokota¹

3-27 ロイコトリエン B4 第二受容体 BLT2 の新しいリガンド 12-HHT の生合成機構の解明

14:45 九州大学・医学研究院・医化学分野

P 250 ○松延 武彦、奥野 利明、横溝 岳彦

15:00-15:10 休憩

一般講演 3-28~3-31 15:10-16:20

座長 横田 一成 (島根大・生物資源)、山本 圭 (都・医学研)

3-28 システイニルロイコトリエンの血小板における役割

15:10 ¹東大・医・細胞情報、²東大・医・脳神経外科、³秋田大・医・生体防御

P 253 ○伊藤明博^{1,2}、柳田圭介¹、石井聡^{1,3}、斉藤延人²、清水孝雄¹

- 3-29 PAF 受容体欠損マウスで見いだされた新規な PAF 生理機能の解明
15:25 ¹静岡県大・薬・生体情報分子解析学、²静岡県大・食品栄養科学部・食品生物化学、
³秋田大学・院医・生体防御学、⁴東大・院医・細胞情報学
- P 255 ○菅谷純子¹、定光慧¹、山崎泰広¹、黒澤雅俊¹、長澤孝真¹、杉山涉²、
五十里彰¹、渡辺達夫²、三輪匡男¹、石井聡³、清水孝雄⁴
- 3-30 ホスホリパーゼ A₁ (PLA₁) により産生される 2-アシル型リゾリン脂質の分離とその
性状解析
15:45 ¹東北大院・薬・分子細胞生化学、²東北大・医・代謝疾患医学コアセンター
- P 259 ○首藤啓明¹、井上飛鳥¹、奥谷倫世¹、北村一¹、有馬直明¹、巻出久美子¹、
青木淳賢^{1,2}
- 3-31 2 カルバ環状ホスファチジン酸光学異性体の合成とその生理作用の検討
16:00 ¹お茶大院・ライフサイエンス、²東京都健康長寿医療センター、
³東京理科大・薬・創薬
- P 264 ○野崎絵美¹、後藤真里¹、堀田晴美²、花澤修和^{1,3}、鈴木孝洋³、小林進³、
室伏きみ子¹